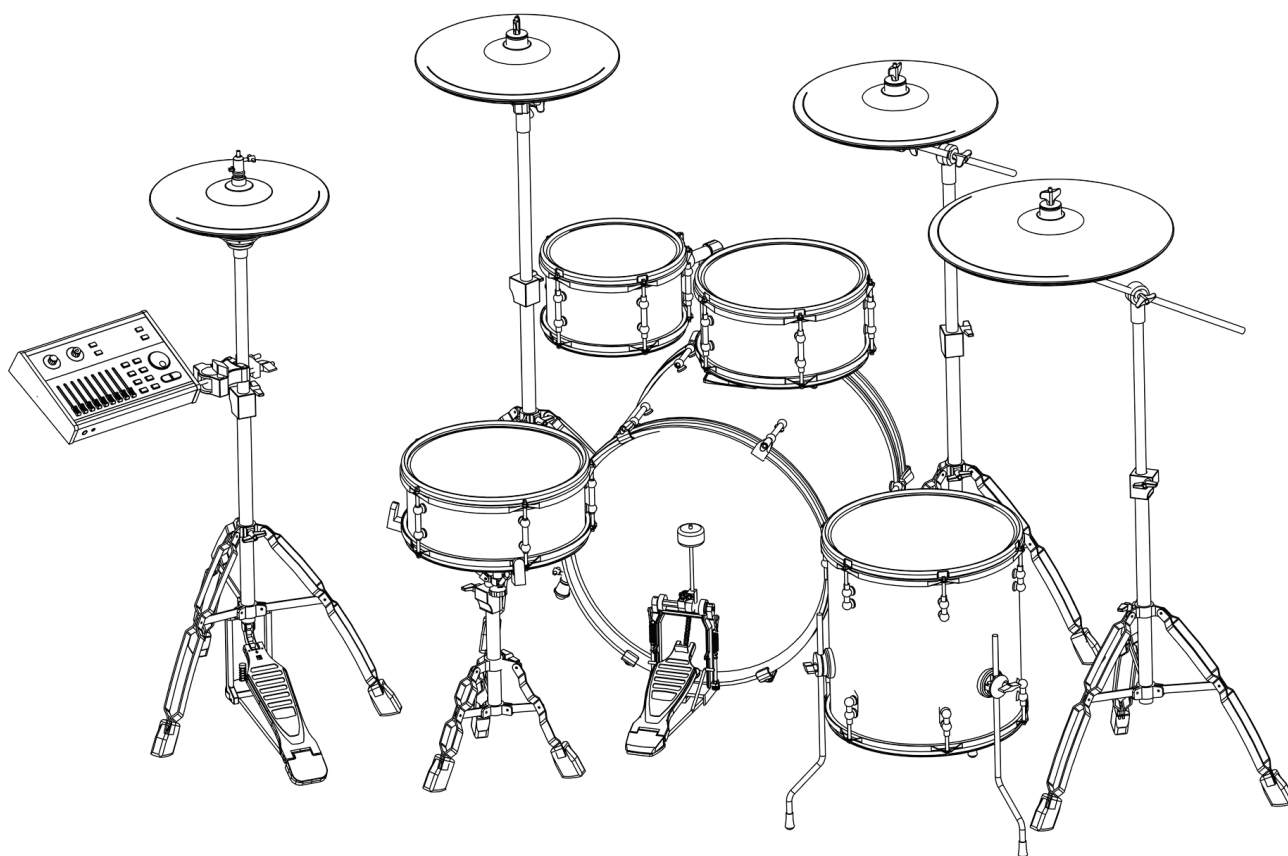


PLAYTECH

Electronic Drum Set

PDS1000

組み立て説明書
Ver.1.0



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

安全上の重要事項

サービス

下記のような事象が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

- 電源コード、アダプターが損傷した
- 液体をこぼしたり、雨中にさらされた
- 動作が異常又は明らかに性能が低下した
- 落下したり、外部に損傷を受けた

いずれの場合でも、カバーを開けて変更、改造などを行わないでください。

取扱い上の注意

- コントローラー、コネクタ、パッド他の部品に過大な力を加えないでください
- 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください
- 落下したり、ぶつけたり、重いものを載せたりしないでください。
- 演奏する前に、アンプのボリュームをチェックしてください。過大な音量で使用すると、聴覚障害の原因になります

クリーニング

乾いた柔らかい布で拭いてください

設置環境

設置環境には十分注意してください。次のような環境に設置すると、本体に変形、変色などが起こることがあります。

- 直射日光(窓際など)が当たる場所
- 高温(熱源の近辺、屋外、車内など)になる場所
- 雨中、多湿にさらされる場所
- 埃の多い場所
- 振動が大きい場所

花瓶など液体がこぼれる可能性があるものを近辺に置かないでください。

ラジオやテレビ受信に影響する場所に設置しないでください。

電源

必ず付属の電源アダプターを使用してください。

長い間使用しない場合は、本体の電源を切ってください。

オーディオ信号ケーブルや配線ケーブルを外す時はドラムとその周辺機器の電源を先に切ってください。

電源アダプターが損傷した場合や本体に液体をこぼした場合は、ただちに電源を切ってください。

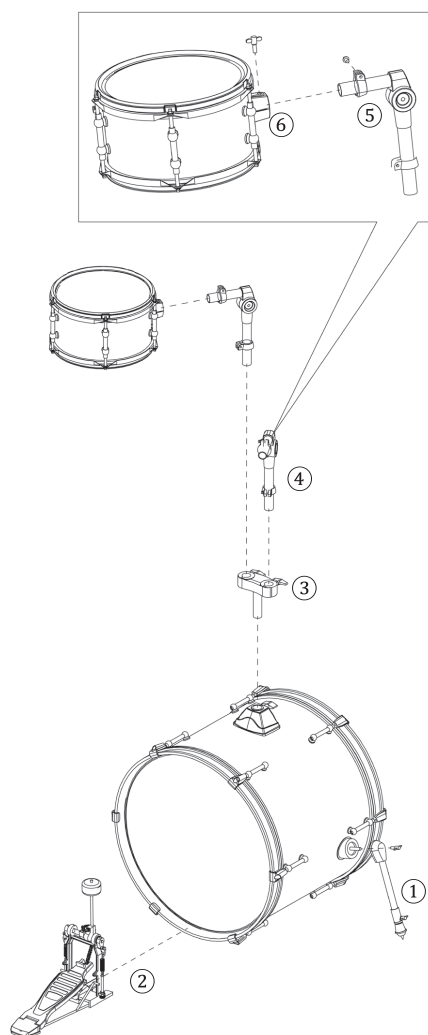
電源スイッチを短い間隔で切ったり入れたりしないでください。電気回路にダメージを与える場合があります。

雷が発生している時は電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

電気ストーブやオーブンなど、消費電流の大きい機器と同じコンセントに繋がらないでください。

ドラムキットの組み立て

各ステップが終了した時点で全てのネジ類をしっかりと締めてください。

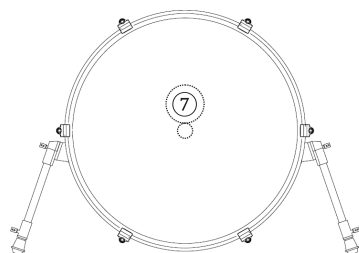


キック、タムの組み立て

1. キックの両脚①をキックに挿し込み、蝶ネジを締めます。滑らないように脚を開いて固定してください。
2. キックペダル②を取り付けて位置を調整し、蝶ネジを締めます。
3. タムホルダーコネクター③をキックに挿し込みます。
4. 両方のタムホルダー④をタムホルダーコネクター③に挿し込みます。
5. メモリーロック⑤を固定します。
6. メモリーロックの位置まで、タムパッド⑥をタムホルダー④に挿し込んでください。

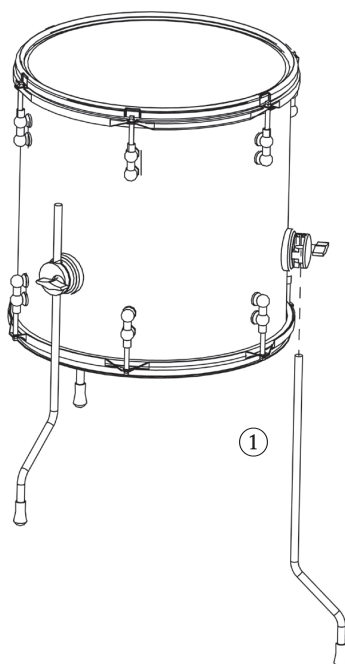
注意

ピーターがクッション⑦を叩く位置に、キックペダルを取り付けてください。他の部分を叩くと故障の原因になります。



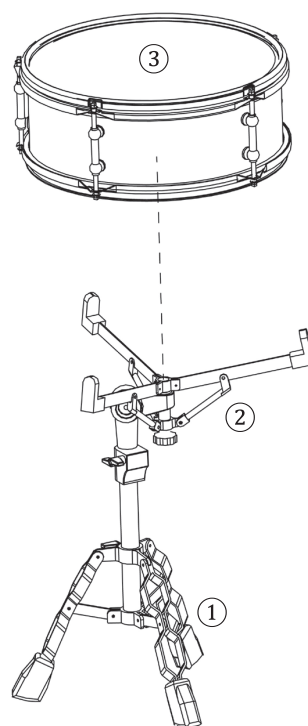
フロアタムの組み立て

1. フロアタム脚①をサイドのコネクターに挿し込みます。
2. 高さを決めて蝶ネジを締めてください。



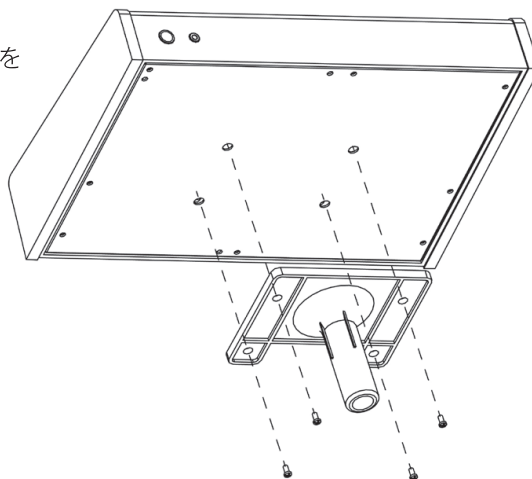
スネアの組み立て

1. スネアスタンド脚①を開いて位置を決めます。
2. スネアスタンドアーム②を開いて、スネアパッド③を上向きに置きます。
3. スネアスタンドアームの底にあるツマミを回してしっかりと固定します。



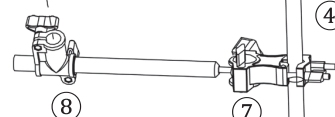
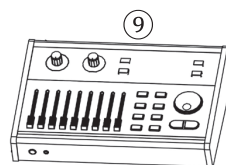
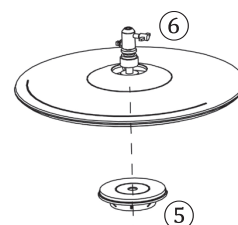
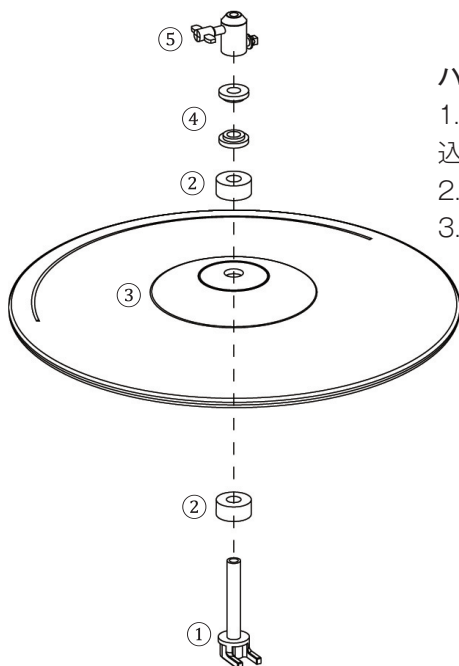
サウンドモジュールの組み立て

サウンドモジュールの穴にホルダーを合わせてネジで止めます。



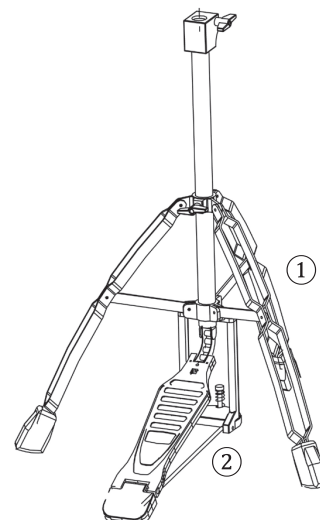
ハイハットシンバルの組み立て

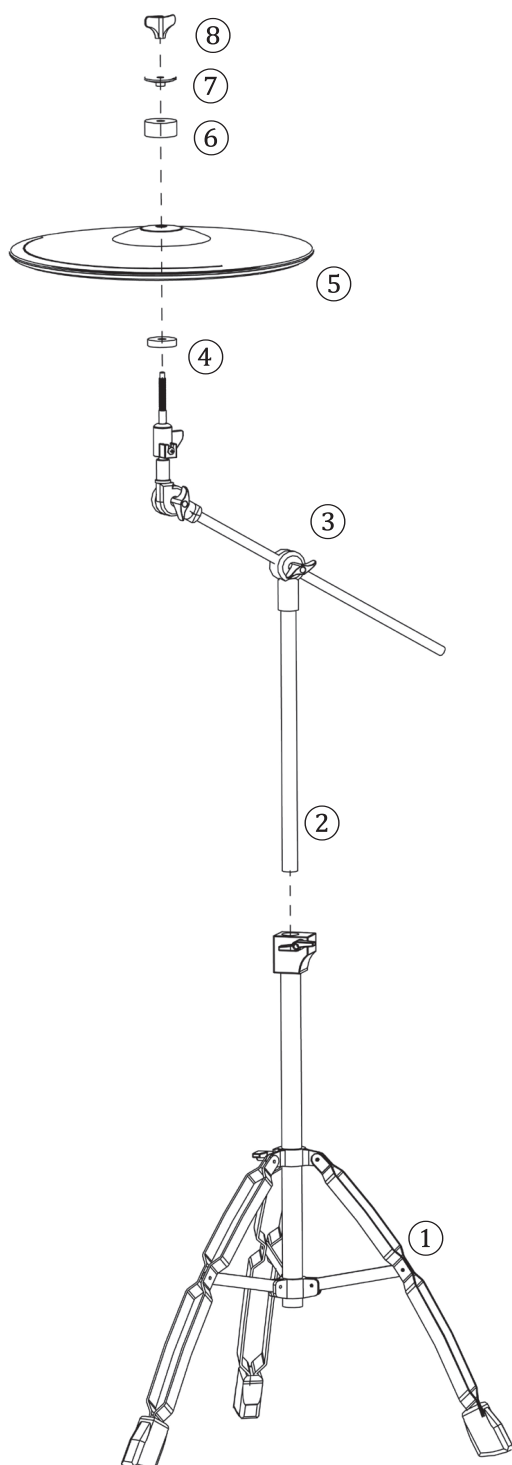
1. フェルト②をメタルストッパー①に挿し込み、次にシンバル③を挿し込みます。
2. フェルト②とナット④を挿し込みます。
3. 最後にクラッチ⑤を挿し込みます。



ハイハットスタンドの組み立て

1. ベーススタンド①が安定して立つように脚を開きます。フットペダル②をスタンドの下から挿し込みます。
2. ロッド③をネジ穴に挿し込み、時計回りに回して固定します。
3. チューブ④をロッド③に通します。
4. チューブ④の高さを決めて蝶ネジを締めます。トレイ⑤をロッド③に通してチューブ④の上に乗せます。
5. ハイハットシンバル⑥をロッド③に挿し込みトレイとの間に隙間を空けて上部のクラッチを締めます。
6. メタルクランプ⑦の蝶ネジを緩めてチューブ④に挟みます。
7. サウンドモジュールクランプ⑧の位置と角度を調整します。
8. サウンドモジュール⑨をクランプ⑧に取り付けます。





シンバルの組み立て

1. シンバルスタンド足①を開いて立てます。
2. スタンド②を下のベースに挿し込みます。
3. スタンド②の蝶ネジを緩めて、シンバルロッド③の位置を調整します。
4. 左図のように順番に、フェルト(薄い)④、シンバルパッド⑤、フェルト(厚い)⑥、ワッシャー⑦、蝶ネジ⑧をロッドに通します。全体の位置を調整し、各蝶ネジをきつく締めます。

ケーブル接続

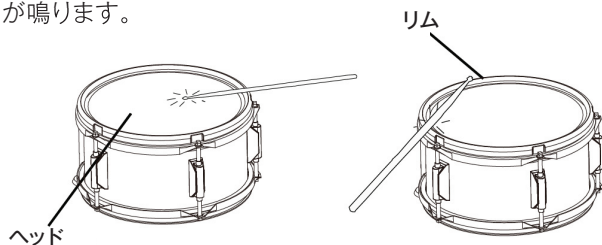
トリガーケーブルのコネクタをサウンドモジュールのTRIGGER INPUTに接続し、もう片方をドラムパッドに接続します

パッド演奏

全てのパッドは叩く強度に応じて音の大きさが変わります。
強く叩くと大きな音、弱く叩くと小さい音になります。

タム

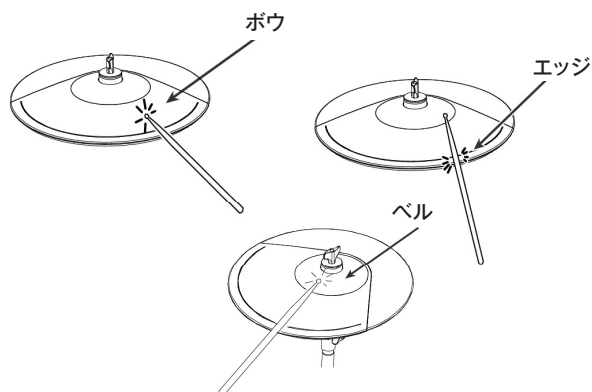
パッドの中央を叩くとヘッドサウンド、リムを叩くとリムサウンドが鳴ります。



シンバル

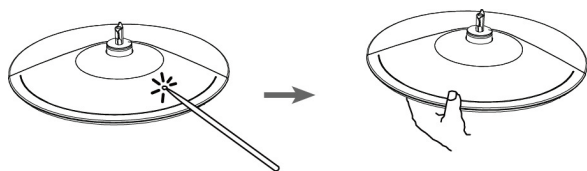
中央部分を叩くとボウサウンド、エッジを叩くとエッジショットサウンドが鳴ります。

中央のベルを叩くとベルサウンドが鳴ります。



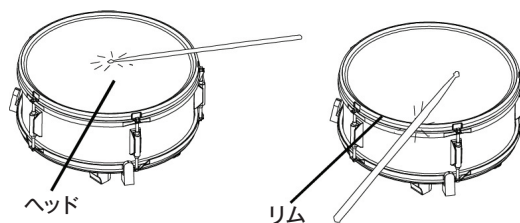
シンバルチョーク

シンバルを叩き、音が持続している状態でエッジを手でつかむと、サウンドをミュートすることができます。



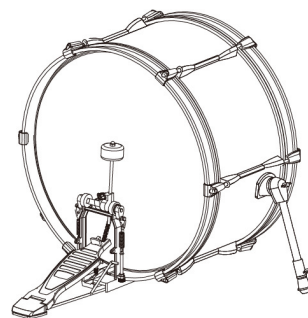
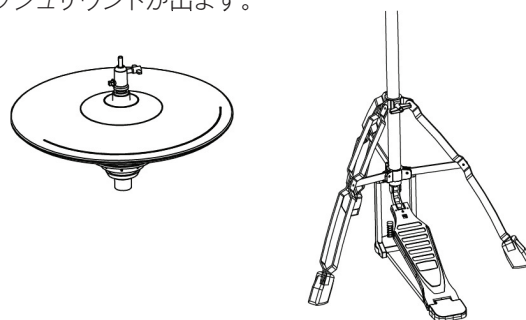
スネアドラム

パッドの中央部分（ヘッド）を叩くとヘッドサウンドが、リムフープを叩くとクロススティック、リムショットサウンドが出ます。リムも叩く強度により音が変わります。



ハイハット

1. ハイハットペダルを踏まずにハイハットを叩くと、オープンサウンドが出ます。
2. ハイハットペダルを踏んでハイハットを叩くと、クローズサウンドが出ます。
3. 踏み込む位置によってはハーフオープンサウンドが出ます。
4. ハイハットペダルを強く踏み込むとペダルチックサウンドが出ます。
5. ハイハットペダルを瞬時に強く踏み込むとペダルスブラッシュサウンドが出ます。



キックドラム

キックドラムペダルを踏むとキックドラムサウンドが出ます。